



会社案内 三協化成



E



『Human Chemistry—人が見える化学』で 人の暮らしに豊かさ・環境にやさしさを提供していきます。

私たち“三協化成”は、将来の夢を持っています。
 「ニッチ分野に特化しスモールサイズでも世界に通用する化学会社」になることです。
 そのためには、21世紀という新しい時代に、本当の意味で求められる化学会社にならなければならないと考えています。
 その姿を思い浮かべたとき、3つのHumanと出会いました。

【for Human—人のために創る化学】

【with Human—人と共に創る化学】

【by Human—人が創る化学】

21世紀、私たち“三協化成”は、この3つの『人=Human』を大切に、
 “人が見える化学” Human Chemistry を創造していきたいと考えます。

【コーポレートスローガン】

地球の大切な資源をもとに、豊かな暮らしづくりに必要な素材を生み出す「化学=Chemistry」。この素晴らしいパフォーマンスに生命を吹き込む「人=Human」。私たちが目指すのは「人」という存在がはっきりと見える「化学」の創造です。私たちは「人が見える化学—Human Chemistry」をコーポレートスローガンとして発信しています。



今、あらゆる価値観が大きく変化する中、本当の豊かさを支える新しい化学が求められています。そんな夢のある化学の創造に私たちはいつも挑戦しています。

21世紀に求められるさらに進化した化学は、優れた人間力を備えた人により生みだされます。そんな未来を担う人の育成に私たちはいつも注力しています。

これからの新しいビジネスにおいては自らを高めていくことと同時に、共生の心が不可欠です。そんな真のパートナーシップを、私たちはいつも大切にしています。

“グローバル&ニッチ”に目を向けたモノづくりで、 新たな“ファイン&スペシャリティー”製品を創造していきます。

私たち三協化成の創り出す製品は、そのままの形で消費者の方々の目に触れる事はありませんが、社会のさまざまな分野で、人々の豊かな暮らしに貢献しています。

例えば、パソコンや携帯電話などの半導体には、“メタルコンタミネーションフリー化技術”を活かした私たちの製品から製造されたフォトレジスト材料が使われ、急速な小型化、高集積化、高性能化などに寄与しています。

また、医薬品の製造にも、私たちの“硫黄化合物”が原料や中間体として幅広く用いられ、「人の健康を守る」という大きな使命の一端を担っています。その他にも、化粧品、プラスチック、ゴム、皮革、写真薬、入浴剤、農業などに、私たちの製品は「優れた機能」を付与しています。

さらに、主力製品のひとつである硫化ソーダや水硫化ソーダの事業は、石油精製時の副生硫黄分を製造原料にしていることから資源リサイクル事業としての性格も持っており、加えて、有機硫黄化合物からなる廃水処理剤や重金属処理剤、有価金属回収剤などは、環境保全用途として現在注目をあびています。今後も私たちは、独自の視点から引き続き、地球環境保全に役立つ環境リサイクル分野向けの事業展開を図って行きます。

このように私たちは、電子材料分野、医療医薬品分野、工業用機能性材料分野、生活関連分野、環境リサイクル分野を通じて、その限りない可能性に挑戦し続け、常に“グローバル&ニッチ”に着眼し、変化し続ける暮らしに役立つ、新しい“ファイン&スペシャリティー”製品を創造していきます。

電子材料分野

- フォトレジスト用材料
- 高機能性樹脂用材料
- 表示・記録用材料

医療医薬材料分野

- 医薬品中間体
- 医療用ゴム添加剤

工業用機能性材料分野

- ゴム・プラスチックの架橋剤
- 紫外線吸収剤（プラスチック）
- 機能性製品のS化剤

生活関連分野

- 紫外線吸収剤（化粧品）
- 入浴剤の成分
- 写真の定着剤・脱塩素剤

環境リサイクル分野

- 無機硫黄化合物
（石油精製時の副生硫黄分リサイクル）
- 重金属除去剤・有価金属回収剤
- 金属表面処理剤

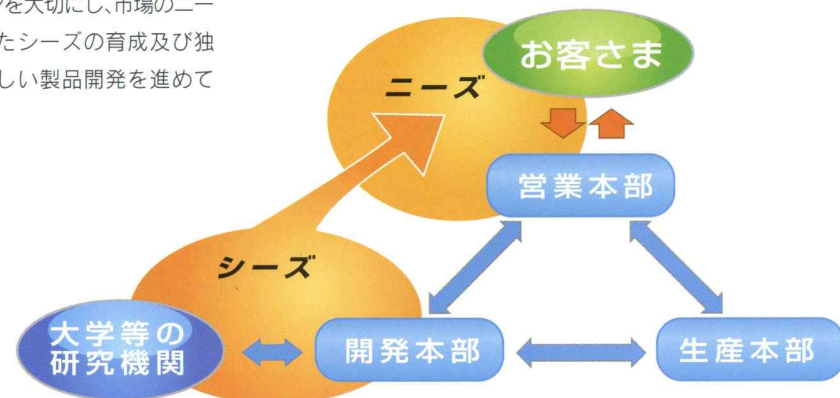
ヒューマンリレーションと独自のコア技術で 皆様のグッドパートナーを目指します。

コア技術をベースとしてシーズの育成とオリジナル製品の開発

私たちは、新たな独自性のある製品を市場に提供するため、独自のコア技術である“硫黄化合物の製造技術”、“メタルコンタミネーションフリー化技術”、“ベンゾフェノン誘導体の製造技術”のブラッシュアップを図っています。これを通じてオリジナル製品を創り上げると共に、お客様のニーズにあわせて優位性のある製品開発を行っています。

それに加え、私たちだけでは到達できない新しい領域の分野では、大学や民間企業の各研究機関との共同研究や、産官学での戦略的な連携を積極的に行い、新しいシーズの発掘、育成を積極的におこなっています。

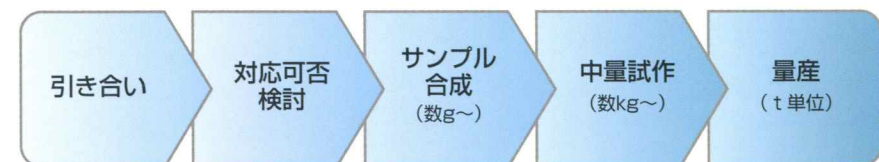
私たちは独自のコア技術とヒューマンリレーションを大切に、市場のニーズを先取りしたシーズの育成及び独自性のある新しい製品開発を進めていきます。



受託生産に関して最適な独自技術を提供

社会ニーズがますます多様化、高度化する中、お客さまとのヒューマンリレーションを大切に、お客さまのニーズを迅速かつ的確に掴み、その情報を基にこれまでの蓄積技術をベースに検討を加えて、私たちの優位性を明確に提案していくと共に、お客さまのご要望にスピーディーかつ正確にお答えします。また、グラム単位からの共同開発にも対応しており、初期段階の打ち合わせから、必要に応じて研究、技術、製造スタッフが同行し、お客さまとの連絡を密にする事で、多様なニーズに対応し、量産までの期間を短縮します。

この様にそれぞれのお客さまに対し、そのニーズに最適な独自技術を社員全員で提供していくことが、私たちの考える受託製造ビジネスです。



有機硫黄化合物の可能性を追求し社会に貢献

有機硫黄化合物は生理活性、屈折率向上、架橋性などという面白い特徴を持っており、医薬品、高屈折ポリマー、ゴム、金属表面処理剤、農薬などの様々な用途に、今後も高い期待がもたれています。

私たちは、日本を代表する硫化ソーダ、水酸化ソーダといった無機硫黄化合物の製造メーカーとして長年に亘って蓄積した製造技術と、これまで様々な受託製造やオリジナル製品の開発で蓄積した精密有機合成技術を融合させ、有機硫黄化合物の研究開発及び製造に取り組んでいます。

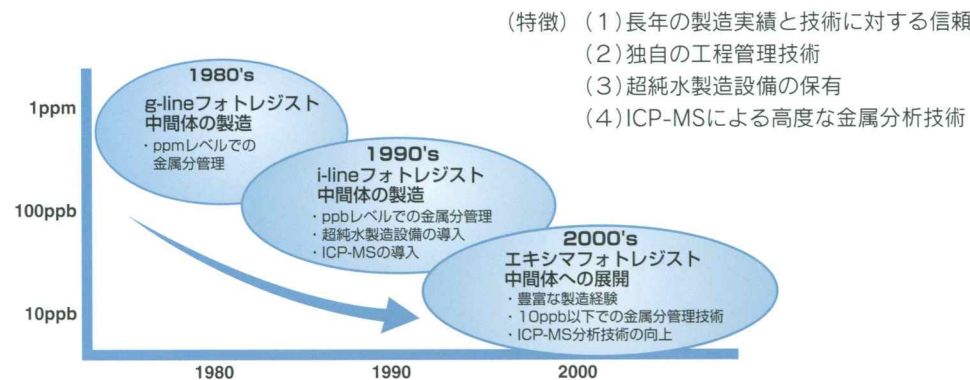
自社の無機硫黄化合物を原料としたチオール化、スルフィド化などはもちろんのこと、危険性の高い硫化水素や塩化硫黄などを用いる高度な合成技術も持っています。

当然、これら硫黄化合物を製造する上で避けては通れない臭気の問題に関しても、脱臭設備などを設け、地域環境への影響にも十分に配慮しています。



メタルコンタミネーションフリー化技術で 最先端のエレクトロニクスに貢献

私たちは、メタルコンタミネーションフリー化技術を持っており、メタル含有～10ppbの製品を安定的に製造するための設備洗浄、製造、金属分析までを一貫して行える世界でも数少ない化学メーカーの一つです。このメタルコンタミネーションフリー化技術の歴史は古く、1980年代まだパソコンが普及し始めた頃の半導体の製造に使用されるフォトレジスト用の中間体の製造に始まります。その後20年以上にわたり、お客さまの年々高まる品質向上への要求に対して、日々努力を積み重ね今日のメタルコンタミネーションフリー化技術を築きあげてきました。これからも更に技術を高め、常に時代の最先端を創造していきます。



Human Relations

Core Technologies

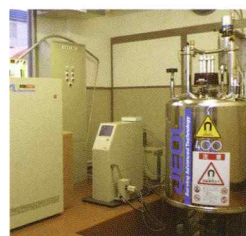
研究開発から製造まで一貫した体制で グローバルな基準に対応する製品をニーズに合わせて提供します。

豊かな感性と行動力で 夢のあるR&Dに挑戦

■ 研究開発・生産技術開発

私たちはこれまで培ってきた技術に常に新たな発想を加え、次世代を担う独自技術や製品の開発に積極的に取り組んでいます。ファインケミカルは多品種少量かつショートライフサイクルを前提に事業を考える必要があります。製品化のスピードが重要な鍵となります。ここに私たちの存在価値があると考え、サンプル提供からパイロット試作、そして製造に至るまでのプロセスで私たちの蓄積技術を活かして、優位性のある提案ができるように力を注いでいます。合成研究、生産技術、設備設計などの専門スタッフを配置し、これらが連携して技術課題の早期解決を図ることで、確実に製品化するために必要な優位性ある技術の確立とこれに要する期間の短縮を実現しています。

現在、新しい領域にも果敢にチャレンジできる20~30代の若手スタッフを擁し、豊かな感性と行動力でユーザーニーズに応えられる夢のあるR&Dに挑戦しています。

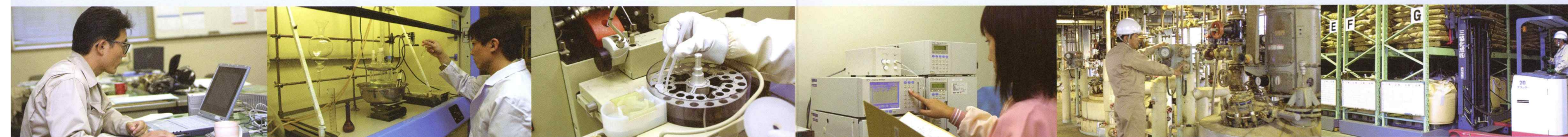


ファインケミカルの多様なニーズに フレキシブル対応

■ 製造

私たちの生産設備は3,000LのGL反応釜を中心に構成されたマルチパーパスプラントであり、オートクレーブや材質や大小容量の異なる反応釜も効率的に配置することで、ファインケミカルのさまざまな反応条件や、生産量のニーズにフレキシブルに対応できる体制を整えています。特徴的な設備としては、メタルコンタミネーションフリー製品の製造を支える超純水製造設備、フッ素樹脂ライニングの加圧濾過器や製品取り扱いのためのクリーンルームなどがあげられます。また、取り扱う製品の多くが粉体であることから、遠心分離、各種の濾過設備、乾燥設備が充実しています。

TPM(Total Productive Maintenance)活動等を取り入れることで、品質および安全の向上を図るとともに精緻生産と生産効率との両立を実現し、世界競争力のある生産体制の確立を目指しています。これからも品質ファーストの意識を徹底し、高品質な製品を安定的かつより安価に供給できるよう努めていきます。



高品質な製品を支える確かな分析技術と トータルな品質管理体制

■ 品質管理

電子材料や医薬中間体などのファインケミカルにおいては、特に厳しい品質管理が要求されており、こうした分野でも私たちのお届けする高品質な製品は、高い信頼を得ています。例えばフォトレジストなどの電子材料には、メタルコンタミネーションフリー製品が求められており、このニーズに応えるために、私たちは製品に含まれる金属分を各元素1ppbまで分析する技術を確立し、10ppbまでその分析値を保証しています。そして、このような製品以外の分析に関しても、充実した分析機器と精度の高い確かな分析技術で、お客さまの幅広いご要望にお応えしております。

このような製品の厳しいチェックは当然ながら、原料の受け入れから設備、製造工程の管理も含めてトータルな品質管理体制を採ることで、安定した高品質な製品をお届けできるよう努めています。



豊かな自然環境を守ることは私たちの使命です。

21世紀の人類にとって「循環型社会の構築」はその存続のための絶対条件です。そして今、そのような社会を支える新たな仕組みや価値観、そして技術について様々な場所で多くの取り組みがなされています。私たちもまたその一翼を担うべく、新たな企業像を思い描いていますが、やはりその原点は「地域」にあるのではないかと考えています。私たちの生産および研究開発の拠点のある安芸津という町は、とても風光明媚な瀬戸内海沿岸に位置しています。周辺地域は温暖な気候風土と湾をなす地勢から四季を通じてたくさんの海の幸、山の幸が収穫されており、これらは「地域の大切な財産」です。

また、私たちはあくまで地域の中の一市民であり、「地域との共生」なくして企業の発展はあり得ないと考えています。従って、日頃から町のイベントや集会を通して地元の人々と交流をはかるなどして、「地域と共に歩む企業」のあるべき姿を模索しています。

私たち三協化成はこのような地域環境の中、「人と人とのふれあい」「人と自然との調和」を図りながら、新しい時代の「化学」を創造していきたいと考えています。

企業経営と環境保全の両立を目指した企業活動

【環境保全】

「企業経営」と「環境保全」の両立は、かけがえのないこの地球上で活動を行うすべての企業に課せられた共通の重大なテーマです。私たちはその実現に向け、開発から生産、購買、販売などあらゆる企業活動において環境面への配慮をその戦略基盤としています。例えば、開発段階では独自のS技術に応用した重金属処理剤の開発、生産段階では3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動の推進、購買段階ではグリーン調達の実践、販売段階では環境への負荷の少ない物流手段の選定など具体的な指針を立て、「地球環境の維持・改善」に積極的な挑戦を続けています。そして、その管理は環境マネジメントシステム(準拠:ISO14000)を導入し、環境経営を積極的かつ効率的に実践できる仕組みを構築しています。



いつ、いかなる状況にあっても安全を最優先

【安全確保】

「働く人々の安全」「地域の人々の安全」は、他の何物にも変えがたいものです。私たちは、いつ、いかなる状況にあっても「安全」を最優先します。特に、私たちの生業が「化学物質を製造することである」という特有の事情から、事故の未然防止にあらゆる手段を講じることはもちろんのこと、予め万が一リスクが表面化したときの対応についても定めています。具体的には、第一にリスク度の高い「生産活動中での安全管理」の徹底が重要であり、これをTPM活動で推進することにより大幅なリスクの軽減を図っています。そして、会社全体のアセスメント機関として「安全衛生委員会」を設置し、社員全員への徹底をより強固なものにしています。



※TPM活動(Total Productive Maintenance) 設備の保全を行うことにより故障を減少し、生産効率を高めると同時に、品質、安全の向上を図る活動。



お客さまの信頼を得られる品質を社員全員で実現

【品質保証】

私たちの製品は、電子材料分野や医療医薬材料分野をはじめ多くの最先端技術を支えています。従って、当然「品質」に関しても常に高度なものが要求されており、その期待に応えていくことが私たちの役割であり、存在価値であると考えています。具体的には、まず開発段階の製品については、営業と開発が一体となってお客さまの求める「設計品質」を作りこんでいくことに最善を尽くします。次に商業化段階の製品については、営業がお客さまの刻々と変化する「使用品質」要求を迅速に把握し、その情報に対し原料から製造工程、製品、物流まで社員全員が誠意をもって対応していきます。



このような仕組みの精度を高めるため、品質マネジメントシステム(準拠:ISO9000)を導入し、お客さまの信頼を得られる「品質」を社員全員で実現できるよう努めています。

新しい時代の化学を創造する人を育成

【人間教育】

21世紀に入り、世界規模の大変革期を迎えています。グローバル化とIT化の進展は、世界中の情報の一元化や多様な価値観の錯綜を生み、それと同時に世界標準という新たなビジネスモデルを生みだしました。また、地球環境や世界人口、そして炭素資源といった人類の持続可能性に関わる難問も顕在化してきており、まさに21世紀を担う「人」が求められています。

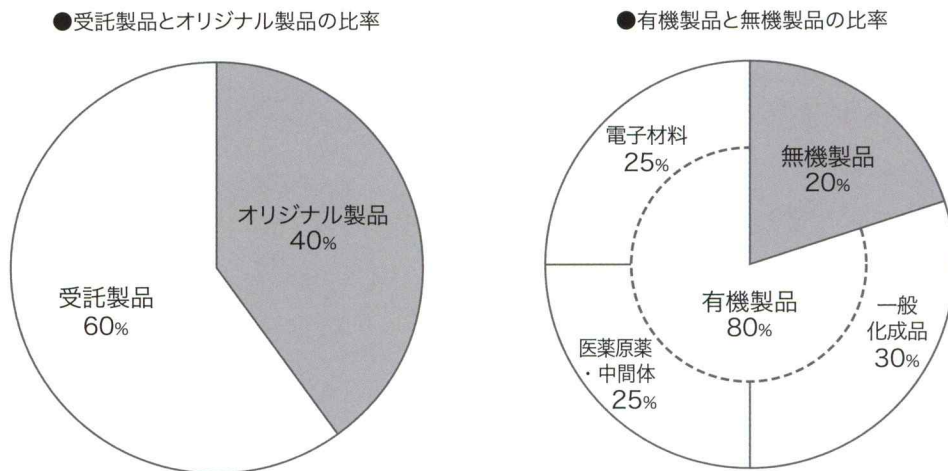
私たち三協化成は、これから新しい時代の「化学を創造する人」を育てていきます。新しい感性と豊かな想像力、日本人の美徳や伝統を重んじる心、たゆまぬ探究心と挑戦する意欲、成し得るために必要な責任感と忍耐力、そして何より直面する困難から決して逃げず立ち向かう精神、このような優れた「人間力」を備えた人を世に出していきます。



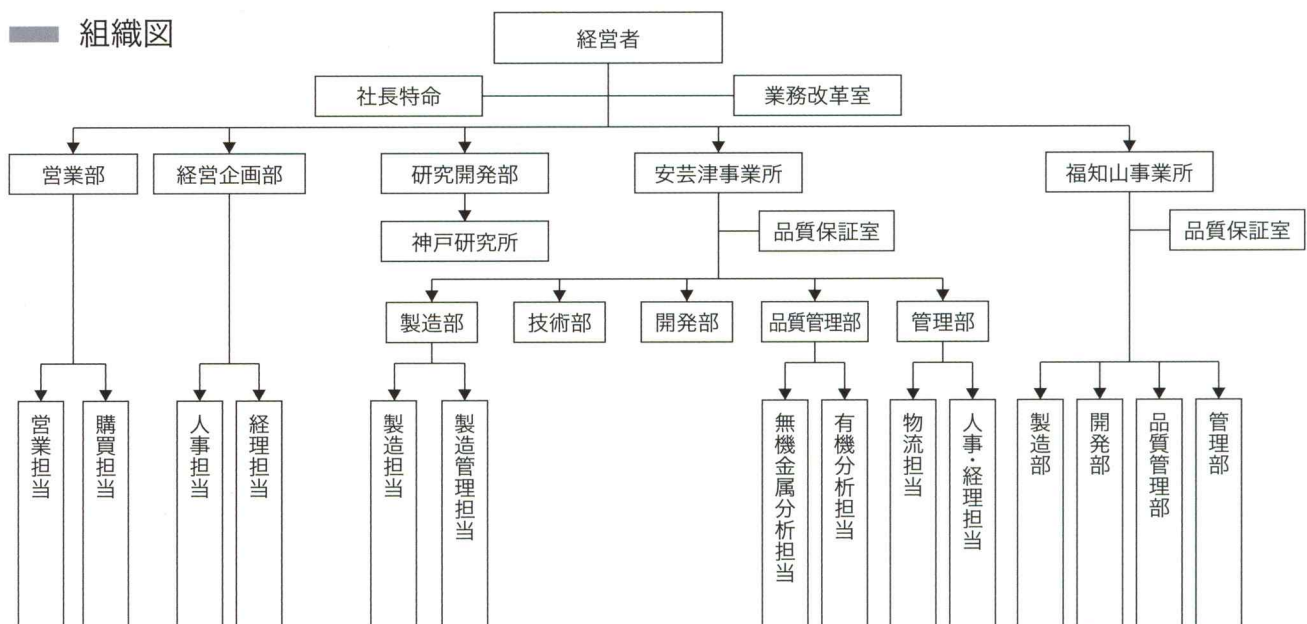
会社概要

名称	三協化成株式会社	役員	代表取締役社長	前田雅也
創立	昭和36年8月1日(創業 明治40年)		取締役	丹下勝紀
資本金	4億4千万円		取締役	杉本真一
決算期	9月		監査役	吉迫敬史
従業員数	200名			
株式	株式の総数 880,000株			
	主要株主 前田雅也 410,610株			
	(株)中之島倶楽部 300,000株			
取引銀行	りそな銀行 堂島支店			
	みずほ銀行 南船場支店			
	商工中金 船場支店			

売上構成



組織図



沿革

- 1961 (S36年) 前田化学工業(株)、旭化学工業(株)が合併し、
三協化成(株)を設立
資本金3,000万円
資本金5,000万円に増資
- 1962 (S37年) 水硫化ソーダプラント(安芸津工場)完成
- 1964 (S39年) 中性無水芒硝プラント(三原工場)完成
- 1967 (S42年) 結晶硫化ソーダプラント第1号機(安芸津工場)完成
- 1969 (S44年) 合弁会社「四日市ケミカル(株)」設立
水硫化ソーダ原液プラント(海南事業所)完成
結晶硫化ソーダプラント第2号機、
硫化プラント(安芸津工場)完成
- 1970 (S45年) 四日市ケミカル(株)中性無水芒硝プラント完成
資本金9,000万円に増資
- 1971 (S46年) 合弁会社「韓国三協化成(株)」設立
前田化工(株)を吸収合併 資本金9,900万円
医薬中間物“グアヤコール”プラント(三原工場)完成
重金属処理剤“サンチオール”製造開始(世界14ヶ国特許、関連特許5件)
- 1972 (S47年) 重金属処理剤“サンチオール” 大阪工研協会第22回工業技術賞受賞
- 1973 (S48年) 還元プラント(安芸津工場)完成
- 1974 (S49年) 高分子添加剤“ジスネット”製造開始(特許関連40件)
高温高圧反応プラント(安芸津工場)完成
- 1975 (S50年) 総合廃水処理プラント(安芸津工場)完成
結晶チオ硫酸ソーダプラント(安芸津工場)完成
資本金1億円に増資
- 1977 (S52年) 総合廃水処理プラント(三原工場)完成
- 1979 (S54年) 紫外線吸収剤“ジスライザー”製造開始
- 1981 (S56年) フォトレジスト中間体(ベンゾフェノン系)製造開始
- 1983 (S58年) 三原工場閉鎖
精密化学品マルチプラント“F-1”“F-2”完成
- 1985 (S60年) フレークプラント、接触酸化廃水処理プラント完成
安芸津工場事務棟完成
- 1988 (S63年) 東京営業所開設
- 1991 (H3年) クリーンルーム仕様プラント“F-3”完成
超純水装置設置
- 1993 (H5年) 資本金2億9千万円に増資
- 1994 (H6年) 精密化学品マルチプラント“F-5”完成
精密化学品マルチプラント“F-6”完成
- 1996 (H8年) 精密化学品マルチプラント“F-8”完成
- 1997 (H9年) 精密化学品マルチプラント“F-7”完成
パイロットプラント完成
- 1999 (H11年) フォトレジスト中間体の製造でISO9002認証取得
- 2001 (H13年) 新コーポレートスローガン
「人が見える化学—Human Chemistry」発表
- 2003 (H15年) 精密化学品マルチプラント“F-10”完成
本社、東京オフィス、安芸津工場でISO9001(2000年版)認証取得
井水膜浄化装置設置
- 2005 (H17年) 本社、東京オフィス、安芸津工場でISO14001認証取得
プロセステクノロジーラボ(PTラボ)完成
- 2006 (H18年) 株式会社「デザイン・ラボラトリー」設立
- 2007 (H19年) 合弁会社「東宮三協化学有限公司」設立
メタル・コンタミネーション・フリープラント“F-11”完成
メタルフリー専用研究・検査施設
エレクトロニックテクノロジーラボ(ELラボ)完成
株式会社「おう化学研究所」設立
- 2008 (H20年) 創業100周年記念行事
- 2013 (H25年) パイロットプラント(クリーンルーム仕様)設備増強
- 2014 (H26年) 神戸研究所開設
- 2015 (H27年) 福知山事業所開設
- 2016 (H28年) 資本金4億4千万円に増資

事業所

本社

住所 大阪市北区堂島浜1丁目4番16号 アクア堂島西館8階
TEL 06-6345-4138 **FAX** 06-6345-4113

安芸津事業所

住所 東広島市安芸津町三津4234番地
TEL 0846-45-1160 **FAX** 0846-45-1170

福知山事業所

住所 福知山市長田野町1丁目58番1号
TEL 0773-27-8370 **FAX** 0773-27-8372

神戸研究所

住所 神戸市中央区港島南町6丁目7番4号 HI-DEC3階
TEL 078-381-6225 **FAX** 078-302-3345

東京サテライト

住所 東京都中央区日本橋兜町5丁目1番地
兜町第1平和ビル3階リージャスビジネスセンター138号室

関連会社

韓国三協化成株式会社

本社：慶尚南道 梁山市 北亭洞 105番地
資本金：5億ウォン
事業内容：硫化ソーダの製造

東宮三協化学株式有限公司

本社：中国山東省東宮市壘利県永興路89号
出資金：3000万人民币元
事業内容：水硫化ソーダの製造

